

背景

これからの世界は、
一層予測が困難

AIやロボット、IoT
などの進化が浸透

ポイント

- ✓ 予測できない状況に柔軟に対応できる
世界で生き抜く人材の育成が必要
- ✓ 日々進化する生成AIなどのデジタルを
リアルの学びに組み合わせる取組が不可欠

「AI」や「グローバル・リーダー」の力を結集して
世界で生き抜く「**自立した学習者**」を育成

- ✓ 学びのプロセスを自ら選択し決定する**自己デザイン力**
- ✓ 興味関心に応じて、**創造的・協働的**に学ぶ力

「次世代の学びの基盤プロジェクト」を展開

「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集

① DXによる学びの改革

デジタルとリアルの
最適な組み合わせ

② 教員と組織の改革

教員の役割や組織の
あり方の改善

③ 制度の改革

学習内容や方法、単位の
認定等の柔軟な運用

3つの改革を実施して、目指す学校の姿

日常的なAIの活用

グローバル・リーダーとの交流

学び方

生徒自身の
知識や興味に応じた
生徒一人一人の学び

これからの学び

教員の一言指導
による学び
学校や教室の中で
時間割に則った学び

時間と場所

AIなどデジタルを活用し
生徒自身が時間や場所
を選ぶ学び

これま
での学
び
免許を持つ教員から
教科書を通じた学び
年間で決められた
時間を使う学び

専門家や企業の人材から
リアルな社会課題を扱った
新たな価値の学び

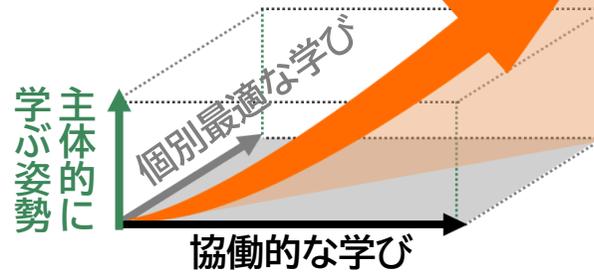
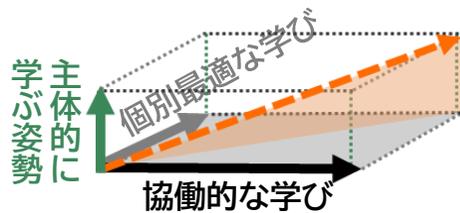
費やした時間量でなく
論文やコンテストなどの
成果で評価される学び

学習の内容と指導者

学習の成果と評価

最先端の知識を主体的に学び、AIを駆使して新しい価値を創造し、世界で生き抜く「**自立した学習者**」を育成

3つの改革(①DX、②教員と組織、③制度)で「**自立した学習者**」を育成



「**自立した学習者**」
の育成

① DXによる学びの改革

- ✓ AI等で、きめ細かく高レベルな知識を提供
- ✓ デジタルツールで学ぶ時間や場所の選択を実現

「AI」 × 「グローバル・リーダー」

デジタルの教育 × リアルの教育

新たな学びを支える仕組み

- ✓ 興味関心に応じた校外のリアルの中で探究
- ✓ 実体験による教科横断的な知識の活用
リアルな教育の効果を、より一層高めるため
デジタルツールで情報共有する工夫

デジタルの教育とリアルな教育の学習状況を
AIを活用し、デジタルテストや学習管理システム(LMS)等で把握し、教育効果を高める仕組みの展開

② 教員と組織の改革

「自立した学習者」を育成する
「学び続けて、成長し続ける教員」

- ✓ 教育課程をAIやグローバル・リーダーの活用など新しい視点でデザインする力
- ✓ 生徒一人一人に伴走し、授業を計画しより効果的に実施する力

「教員のスキルアップ・プロジェクト」

大学や研究機関からの指導者等の導入

海外のグローバルで最先端の知見の活用

「学び続けて、成長し続ける教員」
が密接に連携した教育

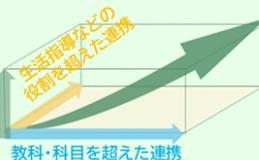
- AIを活用した授業デザイン
- 資質・能力の研究
- 新たな研修の開発
- AIやLMS等の取組の相乗効果を研究

研究

実践

- コーチング・ファシリテーション研修
- デジタルとリアルを融合した新しい授業の研修実施
- グローバル・リーダーと連携した授業の実践

組織的な
マネジメント力



③ 制度の改革

国に働きかけ、目指す学校の姿を実現

検討のポイント(例)

AI等のデジタルの仕組みの教育への反映方法、学校に通うスタイル
科目修了の単位認定の仕組み、生徒の学びの成果の評価方法
外部の専門人材活用のための免許制度 等

今後の、プロジェクトを展開する都立高校の考え方

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和11年度

中間の
取りまとめ

最終の
取りまとめ

重点的な取組の
準備・広報等

複数の都立高で重点的な取組(コース)を展開

入試

港区白金地区「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)

① DX モデル校で取組

各学校が、特色に応じて展開

② 教員と組織

教員のスキルアップ・プロジェクト

③ 制度

国への働きかけ